



しんじゅ

No. 2
2007年 7月27日

発行所：社会福祉法人しんじゅ
発行人：宮脇 テル子

本部事務所

☎821-1533 ☎657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

東部生活・作業支援センター

☎821-1586 ☎657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

ゆめの分室

☎578-3539 ☎652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

たおじ分室

☎987-2532 ☎651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

西部生活・作業支援センター

☎782-9675 ☎655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3

明芳分室

☎735-8835 ☎654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

福祉の店“いたやど”

☎733-2477 ☎654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

社会福祉法人「しんじゅ」の理念

1. 愛情を持って、ふれあい、共生の中で人間性豊かな人生を築こう
2. 安全で、安心して生活できる場を実現しよう
3. 自由に尊厳をもって、人生を全うしよう



後の障害者施設建設を願ひながら、多くの先輩諸氏は他界されました。

夢を追いかけて38年

夢を生きる

活動すること目標に

理事長 宮脇 テル子

前号（二〇〇六年十二月発行）でご報告いたしましたように、十二月二十日をもって、当法人は「特定非営利活動法人福祉支援団体しんじゅ」から「社会福祉法人しんじゅ」に昇格することができました。十月からの新しい機構への移行手続きと重なりかなり複雑なことでしたが、無事三月末の会計処理も通過できうれしく思っています。思えば任意団体「神樹の会」が発足してから約三十八年の長い年月を経て、社会福祉法人になったことは、一重に多くの方々のご支援ご協力のおかげでありますことを覚え、心よりお礼申し上げます。これからも障害ある方々の幸せな生活の構築にむけ、努力していく所存ですので末永く今までも変わらぬご指導を宜しくお願いいたします。

またこの間、親亡き

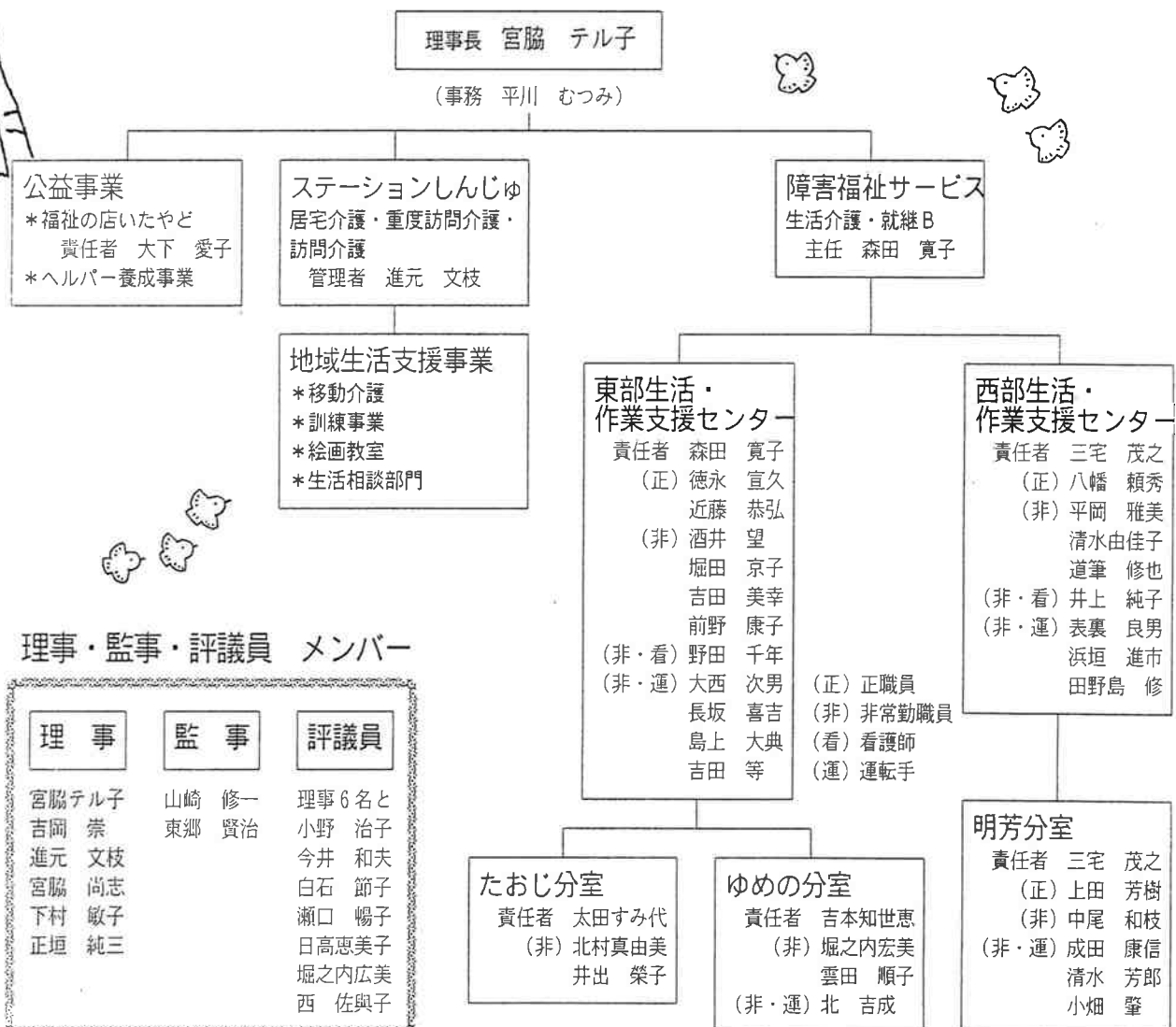
中途障害者と違って生まれた時から重度障害がある方は、毎日たのしく仲間と共にいろいろな経験をし、学び、ふれあい、不安な気持ちをもつことなく社会参加をしながら、ゆったりと人生を全うするということを目標とされています。そのために私たちは一人ひとりのプログラムを組みながら、一人ひとりの自立を願ひながら、障害者を取り巻く方々と共に事業を行っているのですが、やはり核になる大きな建物の建設と心より希望しています。いつかそれが可能である時期がくるまで、夢が夢で終わることなく活動をしながら目標としたいことを願うのみであります。

一歩前進



た。が、今の制度では施設建設は叶わなくなっています。平成十四年に始まった福祉改革は、めまぐるしく変わりながら、すっかり形や制度・姿が違ったものになっています。私たちはその改革に遅れることなく、じめに全ての手続き・事務などすでに終えることが出来ています。現在の障害者福祉は地域福祉という方向で進んでいます。はたして養護学校卒業の障害者（身体障害者の15%前後）は、親亡き後地域で生活することができのでしょうか。それなりの社会基盤ができていない中であつて、耳に美しく響く言葉のみが独り歩きをしているように思えてしかたありません。

社会福祉法人しんじゅ 組織図と職員紹介



今後の発展を願って

社会福祉法人 神戸明輪会

ワークホーム明友 施設長 今井 和夫

このたびは、念願の法人化を果たされ誠にありがとうございます。法人化を心より祝い申し上げます。と共、長い歴史の中で多年にわたるご苦労を敬服申し上げますと同時に、その歴史の一時期、一緒に過ごしていただいたことを、懐かしく思い出し、ご高温に感謝申し上げます。

今、社会福祉を取り巻く環境は、今までにないほど速いスピードで進み、大きな転換期を迎えています。医療・教育と同様に社会福祉のあり

方今まさに問われている時代かもしれせん。今まで積み上げてきたものを大切にしながら、今後起こるであろう法人運営、経営の舵をどう取っていくのか、これからまた新たな歴史の闘いになることかと思われ

確固たる信念、理念のもと今まで以上の連帯感を大切に歩まれるものだと思います。

今後のご発展とご隆盛を心からお祈り申し上げます。

寄り添える心を深め 支える会発足

願いの先へ

“しんじゅ” 障害者を守ること
それは私たち自身の未来を守ること
そのために大切なことは
“しんじゅ” への思いをひとつにすることです

この度“法人しんじゅ”を守っていくために支える会を発足いたしました。“法人しんじゅ”は、一歩前進いたしました。まだまだ会員・賛助会員のみなさまのご支援、ご協力を必要としております。支える会では、バザーのみならず会員・賛助会員相互の親睦・研修、親子の催し、情報交換等を行い、より一層絆を深め“法人しんじゅ”をサポートしていく会です。今後とも引き続き、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

代表 白石 節子



たのしい計画

【その一】

東部生活・作業支援センターはこの夏『夏祭り』を八月十日に開催することとなりました。夏の思い出となるような時間を皆さんとセンターで過ごせなにかと思ひ企画しました。

職員で模擬店を開き、参加者の方々には金券を購入していただき、お買い物気分を味わっていただきます。模擬店の内容はカレー屋・たこせん屋・ヨーヨー釣り・射的・ストラックアウトとなっています。みなで大いに楽しみましょう。



【その二】

西部生活・作業支援センターでは、八月九日、十日に宿泊キャンプを計画しています。淡路ファームパークでは、羊の放牧やひまわり畑を見学し大自然に親しみたいと思います。

宿泊は、しあわせの村「たんぼぼの家」となります。夜には、食事をしながら皆さんの大好きなカラオケで盛り上げて交流を図ります。二日目は、ビンゴゲームでささやかではありますが、皆さんに賞品が当たります。

感謝

平成十八年十二月から十九年七月までに
次の方々より尊いご寄付をいただきました。
不二産業(株)様 欄日の出造園土木様
宮脇 富治雄様 宮脇 テル子様
牧野 祐治様 小川 美津子様
吉田 澄子様 草野 洋一様
加藤 千鶴子様 石原 トシ江様
小川 恵美子様 前川 登美子様
心 関西日米婦人会 会長 KEIKO RUSSELL様より
パーティーション四枚とDVDプレーヤーの贈呈を受けました。
心 御影保育専門学院 代表 川村英夫様より
ピアノ二台の贈呈を受けました。
ありがとうございます。感謝いたします。

お知らせ

◆「しんじゅ福祉バザー」

本年も例年のように多くの方々のご助言をいただき下記のように福祉バザーを開催いたします。

・日時 2007年11月1日(木) 11月2日(金)
10:00~18:00
・場所 神戸ハーバーランド スペースシアター

◆「いたやどミニバザー」

月2回いたやどの店前でミニバザーを開いています。

当番表は下記の通りです。

時間は 10:30~14:30。雨天の場合は中止です。

一度のぞいてみて下さい。

開催日	当番
7月10・25日	絵画サークル
8月 24日	他事業所
9月10・25日	西部生活作業支援センター 垂水
11月9・22日	西部生活作業支援センター 明芳
12月 14日	東部生活作業支援センター たおじ、ゆめの
1月10・25日	東部生活作業支援センター

Memberの声⑤

「今できること」

黒田 素美子
紀子が高校卒業までは、明日は今日よりは良くなって欲しいと、ひたすら学習に訓練にと励んでおりました。

卒業しデイサービスに通うようになってからは、体の現状維持と学校で学んだ事を生かした生活の質の向上、そしてどこでも誰にでもお世話をしてもらえる事を当面の目標にしていたように思います。

学校大好きだった娘はやっぱりデイが大好きで、楽しさいっぱいの様子で帰って来るとこの生活を永遠に続けさせてやりたいと心から願います。けれどもいつまで続けさせてやれるのだろうかという不安がつのるのも事実です。先輩のお母さまからすると「私もあと十年は大丈夫」と自分に言い聞かせているのですが、保証はありませんしその先のプランも見えません。家族が大好きで童女のような寝顔の娘のために、とりあえずは健康に気をつけて、いちにち一日を大切に過ごしていきたいと思うこの頃です。

(平成三年度垂水養護学校卒 黒田紀子母親)

寄り添える心を深め

*ゆめの作業所に来て九年目になります。さをり織りをしています。ティッシュケース入れも作っています。

中田 安春

*最初は電車に乗って作業所に通うのを楽しみにしていました。でも今は自分で電動車椅子で通う所があつてよかったと思っています。さをり織りは学校で少ししていましたが、今は仕事として織っています。最初の作品は売れなかったが、今は端の始末も上手になり、注文ももらえるようになりました。喜んでいきます。

堀之内 和弘

*作業所に来てもう少しで二年になります。最初は心配していた家族も明るくなったと喜んでくれています。これから頑張ります。

稗田 信子

さおり 織っています from Yumeno

*作業所に来る前は、中央市場で働いていましたが、やめてからずーと家にいたので太ってしまい、運動しなかつたと思つて作業所に来てからちよつとやせました。今いろんなところに行けて嬉しいです。

塩谷 明子

*ゆめの作業所に来て一年四ヶ月ですが、さをり織りをして平織りや変わり織り、またフェリシモの反物も織ることが出来て嬉しいのです。これからも頑張っていきたいと思っています。

中元 美由紀

ゆめの分室

利用生より



計報

平成十九年一月から六月までに
次の会員の方が亡くなりました。
心よりお悔やみ申し上げます。

牧野 一夫様 (二月十七日死去 名誉会員)

山中 未貴様 (六月七日死去 たおじ分室)



夏まつただ中、いかがお過ごしでしょうか。つしやいますか。「しんじゅ」も社会福祉法人になり、益々、会員相互の思いやりや結束が必要かと思われまふ。元気で夢に向かってがんばりましょう。
第二号いかがでしたでしょうか。ご意見をお聞かせ下さい。

(白石 小野 日高 宮脇)

